

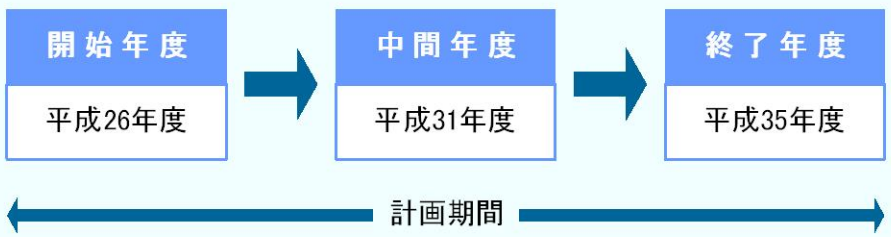
# 奥多摩町環境基本計画 ＜概要版＞

## 計画の役割

- 本計画は、
1. 町の施策や町民、事業者の環境に配慮した行動の指針となるものです。
  2. 町の環境に関する施策を計画的に推進するための指針となるものです。
  3. 町の環境に係る個別計画の中心・基盤となるものです。

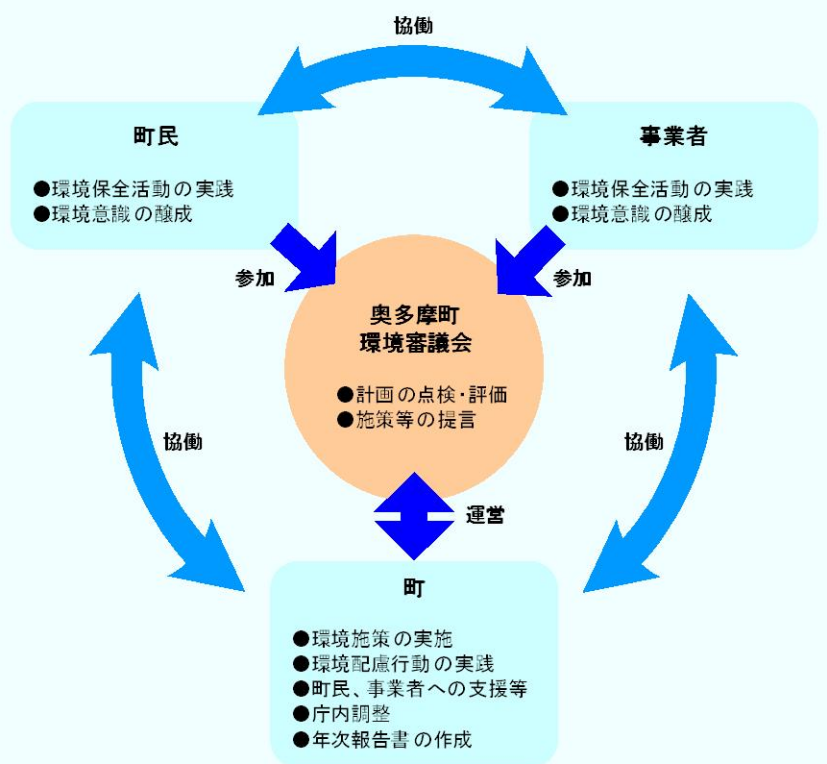
## 計画の期間

本計画の計画期間は、平成26年度から平成35年度までの10年間とし、必要に応じて中間年度の平成31年度に見直しを行ないます。なお、本町をとりまく社会情勢や環境問題に大きな変化が生じた場合は柔軟に見直しを行ないます。



## 計画の着実な推進のために

本計画の目標を達成し、持続可能な社会を築いていくためには、町、町民、事業者の各主体が参加、協働して取り組むことが不可欠です。それぞれの役割を明らかにし、一体となってこの計画の推進を図るために、情報の共有を図り、参加、協働による効果的な取組の実行、主体間のネットワークづくりを図ります。



もり  
人と森林が響きあう  
水と緑のまち・おくたま

## 計画策定の趣旨

東京都の北西端に位置する奥多摩町は、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれ、東京の奥庭として親しまれています。東京都の10分の1に当たる225.63平方キロメートルという広大な面積を有し、大部分は山岳によって隔てられ、町の中心を多摩川が西から東へと貫流しています。昭和30年に、古里村、氷川町、小河内村の3か町村が合併し、奥多摩町が誕生し現在に至っています。奥多摩とは昭和のはじめ日本百景選定の際、多摩川上流の美しいところ「奥多摩渓谷」が推奨されたのが発端です。奥多摩町は、水と緑を大切にし、人と自然との調和した潤いのある町です。また、山村文化の伝承と生活様式が今でも保存され、郷土芸能の宝庫といわれています。私たちは、この豊かな自然と、その自然からの恵みを受けた良好な生活環境を将来の世代に継承する責務があります。

奥多摩町では今、水と緑の豊かな自然環境の保全、ごみ処理などの身近な生活環境の保全から地球温暖化などの地球規模での課題まで、町民一人ひとりの取組が重要となってきています。「奥多摩町環境基本計画」は、これらの社会動向や奥多摩町の環境の現状を踏まえ、環境の立場から今後あるべき奥多摩町の姿とその基本理念を明らかにし、その実現のための施策や行動を策定した、今後の町の環境行政の基本となるものです。



## 奥多摩町の環境は、今

### 生活環境は・・・

奥多摩湖の水質はなかなか改善されていません。西秋川衛生組合へのごみの搬入開始により、より一層のごみの分別、減量化、資源化が求められます。

### 自然環境は・・・

豊かな自然に恵まれる一方、野生鳥獣による農林作物への被害が増加しています。過疎化・高齢化による森林の荒廃が危惧されます。

### 快適環境は・・・

奥多摩湖や多摩川などでクリーンキャンペーンが進められています。その一方で、ごみの不法投棄やポイ捨て、犬や猫のフンの放置が目立ちます。

### 地球環境は・・・

本町の二酸化炭素の排出量は運輸部門を中心に増加しています。木質バイオマスや小型水力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進していく必要があります。

### 環境保全活動は・・・

豊かな森林と様々な施設を活用して森林セラピーや自然体験、環境学習が行なわれています。これらの活動を通じて交流を深めていかなければなりません。



## 環境の将来像



## 5つの基本目標

本町のめざす環境の将来像を実現するために、次のような5つの基本目標を設定します。

生活環境の目標	環境にやさしい暮らしをする	河川や沢、湖の水や空気がきれいで公害がなく、町民の安全・安心を守るまちをめざします。
自然環境の目標	豊かな自然を守る	多摩川をはじめとする川や滝、森林や生き物などの豊かな自然を大きな財産とし、人と自然が共生するまちをめざします。
快適環境の目標	きれいな環境を守る	住む人も訪れる人もともに気持ちの良い、きれいでうらおいと安らぎのあるまちをめざします。
地球環境の目標	かけがえのない地球を守る	全ての町民が地球環境保全を自らの問題として認識し、一人ひとりの生活から実践していくまちをめざします。
環境保全活動の目標	環境について考え行動する	環境の将来像を実現していくため、町、町民、事業者が各自意識啓発を図り、連携して環境保全に取り組むまちをめざします。

## 基本目標と取組

### 基本目標 1 環境にやさしい暮らしをする

- 生活環境の目標
- 大気環境の保全
    - 草木や家庭ごみの野焼きは止めましょう。
    - 外出の際はできるだけ自動車の使用を控え、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用しましょう。
  - 水環境の保全
    - 公共下水道の整備地域以外では、合併処理浄化槽を設置しましょう。
    - 流しに廃油や食べ物の残りを流さないよう、家庭での生活排水対策に努めましょう。
  - 廃棄物処理の推進
    - 4Rのうち、何よりも「リデュース」(ごみを出さない)を優先させましょう。
    - ごみを排出する際は分別を徹底し、資源ごみはごみステーションを活用しましょう。



### 基本目標 2 豊かな自然を守る

- 自然環境の目標
- 自然環境の保全
    - レッドデータブックに記載されている希少野生動植物の捕獲・採集はしないようにしましょう。
    - 外来生物やペットなどの生き物を安易に野外に放さないようにしましょう。
  - 森林の保全
    - 植林や間伐などの森林ボランティアに積極的に参加しましょう。
    - ペレットやチップなどの木質バイオマスを利用したストーブの導入を図りましょう。
  - 自然とのふれあいの推進
    - 「奥多摩ビジターセンター」等を活用し、奥多摩の自然について理解を深め、自然を大切にしましょう。
    - 自然観察会や自然体験活動にボランティアや指導員として積極的に参加しましょう。



### 基本目標 3 きれいな環境を守る

- 快適環境の目標
- 修景緑化の推進
    - 地域の道路や広場の植物の維持管理に協力しましょう。
    - 所有する空き地については、除草等の管理を行いましょう。
  - 清掃美化の推進
    - ペットの犬や猫のフンは必ず持ち帰り、ポイ捨てや不法投棄は絶対にしないようにしましょう。
    - 「ゴミゼロキャンペーン」等の地域での清掃美化活動に参加するようにしましょう。



### 基本目標 4 かけがえのない地球を守る

- 地球環境の目標
- 二酸化炭素の排出抑制
    - 電気製品のコまめなスイッチ操作を行い、冷暖房温度設定は適温を守りましょう。
    - ヨシズやスタレ、「緑のカーテン」などを活用して日影をつくるようにしましょう。
  - 再生可能エネルギーの推進
    - 太陽光発電や小型水力発電、ペレットストーブなどの再生可能エネルギーの導入を推進しましょう。



### 基本目標 5 環境について考え行動する

- 環境保全活動の目標
- 環境保全活動の推進
    - 地域で行なわれている環境保全活動や環境イベントに積極的に参加しましょう。
    - 町民や活動団体同士のパートナーシップやネットワークを構築しましょう。
  - 環境学習の推進
    - 地域や学校での環境学習の機会を活用して環境学習に取り組み、環境に関する知識や意識の向上に努めましょう。

